

リスクに注目して早期発見！『脾臓がん』



↑↑↑
ホームページには
健康情報が
盛りだくさん！

◆脾臓のはたらきとは？

脾臓は胃の裏側にある細長い臓器で、以下の二つのはたらきがあります。

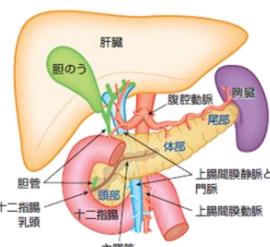
外分泌機能…食べ物の消化を助ける消化酵素を多く含む脾液をつくり、十二指腸へ送り出す

内分泌機能…インスリンやグルカゴンなどの血糖調節ホルモンを血液中に分泌し、血糖値を一定に保つ

◆「脾臓がん」は発見時には進行していることが多い

脾臓がん死亡数の順位は第3位(男性4位、女性3位)^{*1}と予後が悪いがんとして知られています。脾臓がんの9割以上は、脾液の通り道である脾管から発生する「浸潤性脾管がん」であり、その多くは脾頭部に発生します。症状(腰背部痛・全身倦怠感・体重減少・黄疸など)が出てから発見された場合は進行していることが多い、全ステージの5年生存率は13%程度^{*2}です。初期の段階では無症状であることが多い一方、進行が速く、がんが小さいうちから周囲の血管や神経・リンパ節へ広がりやすく、転移しやすいという特徴があります。

*1 国立がん研究センターがん情報サービス(2023年) *2 日本脾臓学会 脾癌症例登録報告より



出典：患者さんのための脾がん
診療ガイドラインの解説

➡ 症状がない早期の段階で発見し、治療を行うことが重要です。

まずは、自分が脾臓がんのリスクが高いかどうかをチェックしましょう！

◆どんな人が「脾臓がん」のリスクが高いの？脾臓がんの危険因子をチェック！

✓ 脾臓がん家族歴

家族に脾臓がんがいる、特に家族性脾がん(父母や兄弟姉妹など身近に脾臓がんが複数いる)は高リスク

✓ 脾臓がんになりやすい遺伝性疾患(遺伝性脾がん症候群)

遺伝性脾炎、Peutz-Jeghers症候群、家族性異型多発母斑黒色腫症候群、遺伝性乳癌卵巣癌症候群(BRCA1/BRCA2)、Lynch症候群、家族性大腸腺腫症

✓ 合併疾患

糖尿病、肥満、慢性脾炎、脾管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)、脾囊胞、胆石

糖尿病の人は脾臓がんのリスクが2倍高いと言われています。初めて糖尿病になった時や、急激に悪化した際は注意が必要です！

✓ その他

喫煙、大量飲酒

喫煙者は非喫煙者に比べて1.3~3.9倍、脾臓がんのリスクが高くなります。

まずは禁煙しましょう！

💡 金属部品の洗浄やドライクリーニングなどで使用される塩素化炭化水素への職業的な曝露が、脾臓がんとの関連を指摘されています

◆危険因子に該当するものがある人は、検査を受けましょう

腹部超音波検査(腹部エコー)

…脾臓がんのスクリーニングに役立ち、脾管拡張や脾囊胞などの異常を見つけ、精密検査につなげます。

脾臓がん早期診断プロジェクト(尾道方式)

…健診施設やかかりつけ医で脾臓がんリスクの高い人(腹部エコーにて脾管拡張などで要精査となった人)を中心病院へ紹介し精密検査につなげる取組みで、全国に波及しています。これにより早期の脾臓がん発見数が増加し、2017年の診断症例では5年生存率が21.7%に上昇しています(尾道市医師会HPより)。

オプション検査として実施しています。
ぜひご相談ください！

CA19-9

…脾臓がんの腫瘍マーカーで血液で実施できる検査です。

早期の脾臓がんでは正常なことが多いので注意が必要です。

マイシグナル検査 …尿でがんのリスクを評価する検査です。

早期の脾臓がんにおいてCA19-9よりも高い検出精度があります。

◆毎年の健診とかかりつけ医でのフォローが早期発見のカギ！

脾臓がんを早期に発見するために、以下のことを実践しましょう。⚠ 症状がある人は速やかに医療機関を受診しましょう！

危険因子をチェック

検査を受けて現状を把握

かかりつけ医に相談

脾臓がん
家族歴

糖尿病

今の脾臓の状態を調べる



異常所見があった人は、かかりつけ医へ専門医の受診について相談



予防のために
＼生活習慣を改善！／

- ・禁煙
- ・適量飲酒
- ・適性体重の維持

